

45期生 i コンピテンシールーブリック調査結果

45期生（2年生）のiコンピテンシールーブリック調査についての結果を報告します。1年間調査にご協力いただきありがとうございました。本調査は、表1の質問項目について「1. 不十分である」、「2. やや不十分である」、「3. おおむね身についている」、「4. 十分身についている」、「5. 卓越的に発揮できる」の5件法で実施しました。

表1：質問項目

情報分析 活用力	I-1 課題解決するために、どのような情報が必要であるか考えることができる。 I-2 情報収集のための具体的な方法・手段をいくつか考えることができる。 I-3 情報を組み合わせて課題解決に活かすことができる。 I-4 情報の真偽を判断し、確かな情報に基づいて結論を導くことができる。 I-5 集めた情報を表やグラフ等を用いて数量的に表すことができる。
論理的 思考力	II-1 物事の全体の構成をとらえ、結論を判断することができる。 II-2 他人の主張に対して、誤りの有無を判断することができる。 II-3 自己の主張に対して、必要な根拠を示すことができる。 II-4 「比較する」「言い換える」「たどる」ことで、道筋を立てて自分の考えを組み立て結論を導くことができる。 II-5 「結論」から「理由」そして「具体例」という順序で話すことができる。
決断 実行力	III-1 対話による議論ができ、意見をまとめることができる。 III-2 伝えたい内容・相手に応じて正確に効果的に伝えることができる。 III-3 目標を達成するために、計画を立てて行動しようとする。 III-4 自分で判断し、状況に応じて臨機応変に対応しようとする。 III-5 自分の限界に挑戦しようとする。

【割合による比較】

情報分析活用力

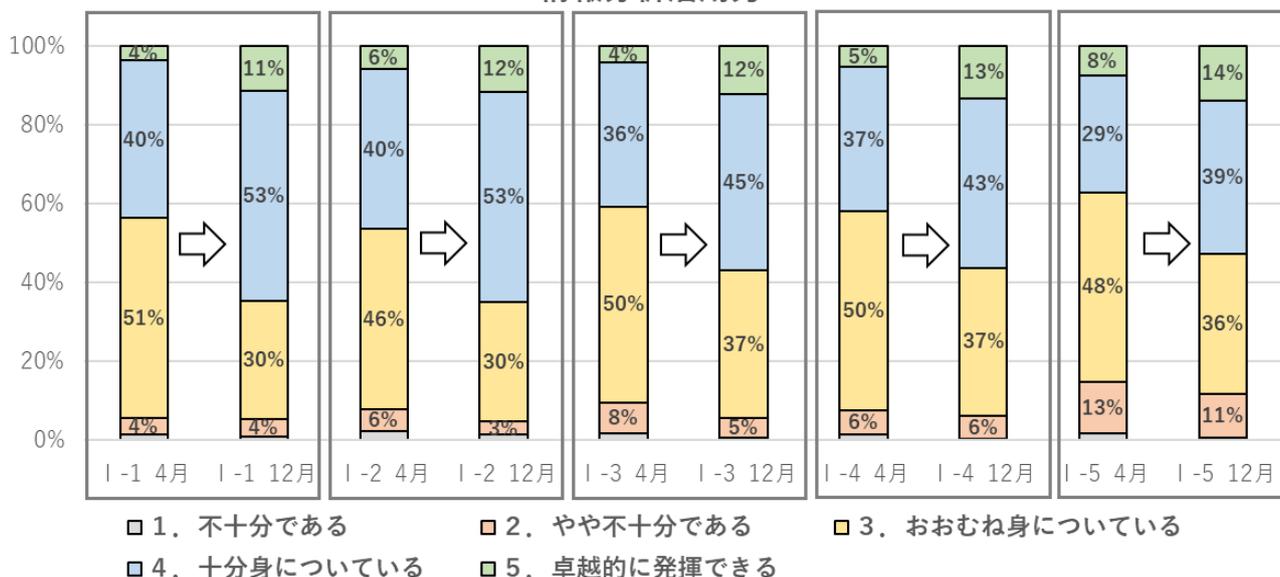


図1：情報分析活用力 I-1～I-5 各項目の4月から12月にかけての変容

論理的思考力

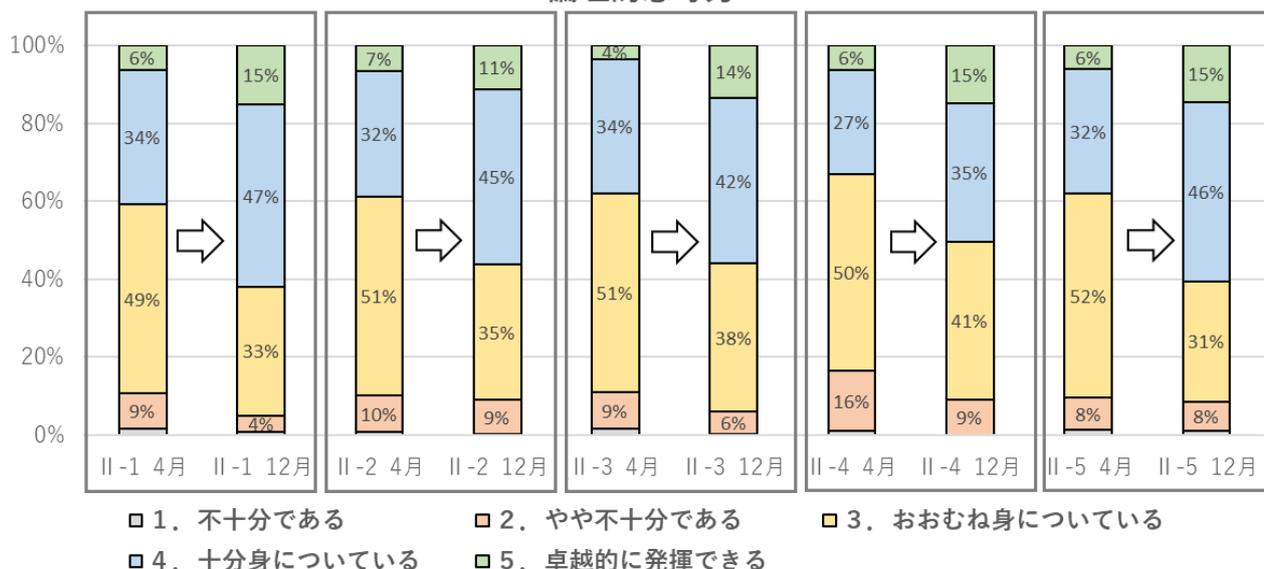


図2：論理的思考力Ⅱ-1～Ⅱ-5各項目の4月から12月にかけての変容

決断実行力

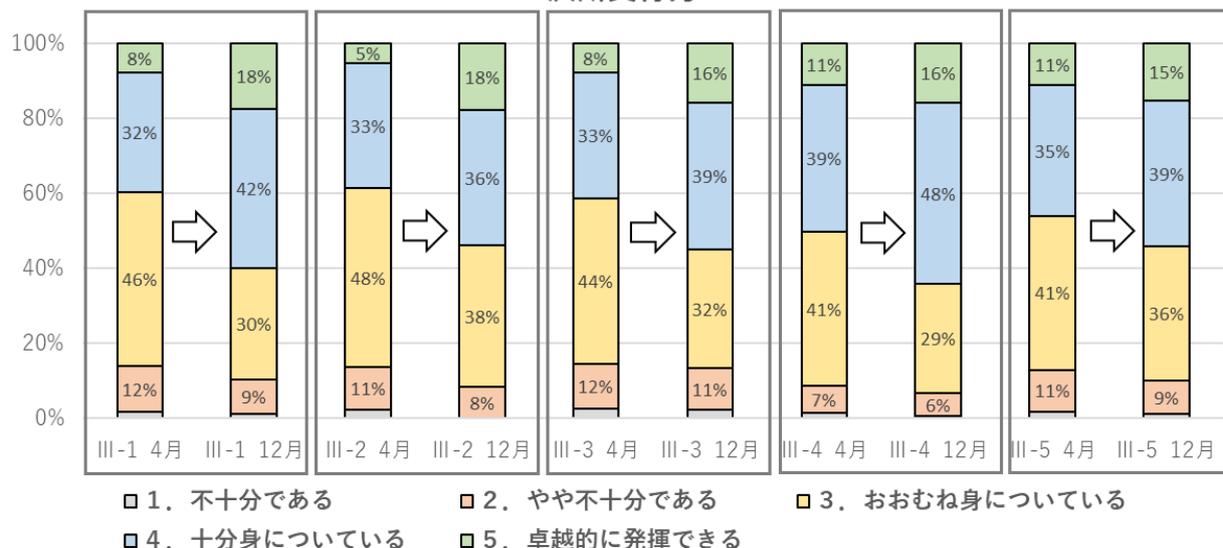


図3：決断実行力Ⅲ-1～Ⅲ-5各項目の4月から12月にかけての変容

それぞれの項目について、12月は4月よりも「おおむね身についている」や「十分身についている」の回答数が大幅に増加し、「不十分である」や「やや不十分である」の回答数が大幅に減少しているということがわかりました。

特に「Ⅰ-1 課題解決するために、どのような情報が必要であるか考えることができる」や「Ⅰ-2 情報収集のための具体的な方法・手段をいくつか考えることができる」という項目では12月調査では肯定的評価（「4、十分身についている」、「5、卓越的に発揮できる」）の生徒が6割を超えました。

普通科のiC課題探究α，理数科のiC理数探究Ⅰなど一年間を通して探究活動に精一杯取り組んだ成果が表れているのではないのでしょうか。